

平成27年10月29日
 物流審議官部門
 物流政策課企画室

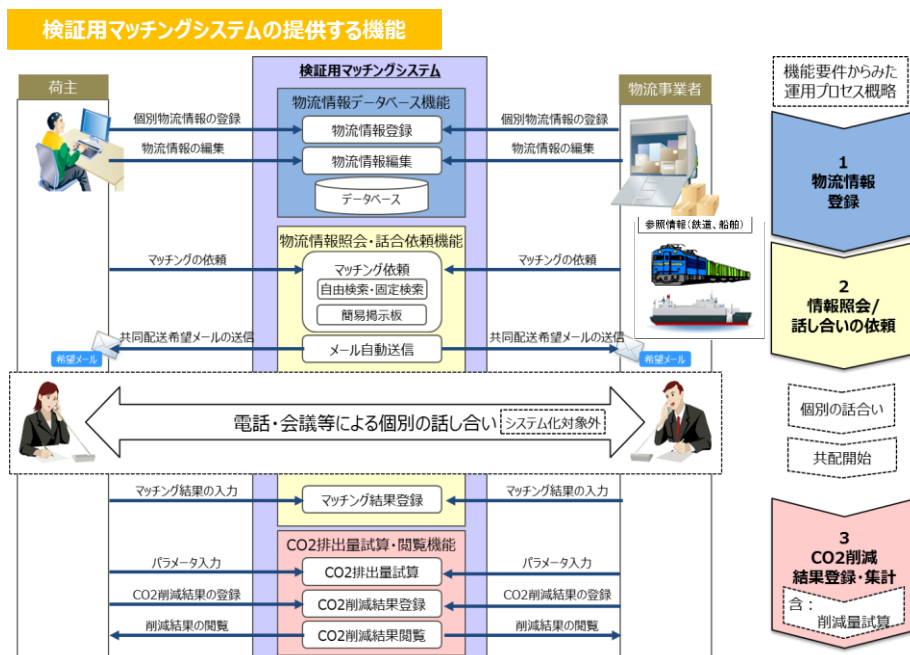
第2回「共同輸配送促進に向けたマッチングの仕組みに関する検討会」開催
 ～開催日 11月4日(水)～

◇ポイント

- ①CO2 排出量削減に資する積載率向上のために共同輸配送を促進中
- ②そのためには、荷主間、物流事業者間、荷主・物流事業者間の情報共有が不可欠
- ③平成26年度・平成27年度の2年間において、企業間の物流情報の共有において利便性の高いマッチングシステムのあり方を検証(環境省と連携して実施)
- ④平成27年度 第1回検討会(平成27年6月29日実施)においては、昨年度に整理した改善点等を踏まえたマッチングシステムの改修や鉄道・船舶のダイヤ情報閲覧機能の追加等について議論
- ⑤第2回検討会においては、改良したマッチングシステムの試行運用とマッチングシステムの運営に適した組織の特性について検討を行います。

○検証用マッチングシステムとは

検証用マッチングシステムは、様々な業種の企業が貨物やトラック等の情報を登録・照会することで、今まで出会うことができなかった企業が出会い、共同輸配送検討に繋げ、結果CO2 削減を実現する事をその目的としています。出会いは荷主間、物流事業者間、荷主・物流事業者間のいずれも対象としています。



【趣 旨】

京都議定書目標達成計画の下、我が国の物流分野においては、2012年度は基準年(1990年度)比でマイナス20.1%の大幅なCO₂ 排出量削減が達成されていますが、2013年3月に地球温暖化対策推進本部において、「当面の地球温暖化対策に関する方針」を決定し、2013年以降も引き続き地球温暖化対策に積極的に取り組むこととされています。

物流分野におけるCO₂ 排出の大半を占めるトラックについて見ると、積載率は40%程度で下落傾向にあり、また、鉄道・船舶においても一部で積載率が低くなっており、今後一層のCO₂ 排出量削減のためには、CO₂ 排出量削減に資する積載率の向上を図ることが急務となっています。

積載率向上の方策として考えられる共同輸配送においては、企業同士の物流に関する情報共有が必須ですが、異業種の企業間においては交流が少なく、そのことが共同輸配送促進の課題となっています。

こうした現状を踏まえ、環境省と連携し、平成26年度・平成27年度の2年間を通して学識経験者・物流事業者関係者・荷主企業関係者等からなる「共同輸配送促進に向けたマッチングの仕組みに関する検討会」を設置し、課題および対策の検討を行っています。また、調査の一環として、企業の「出会い」のための「検証用マッチングシステム」を試作開発し、一定期間の試行運用を行うことで、企業間の共同輸配送実現に向けた連携(マッチング)の課題整理等を行い、共同輸配送促進に向けたマッチングの仕組みを構築し、更なる物流の低炭素化の促進を図っていきます。

平成27年度は、第1回検討会(平成27年6月29日実施)において昨年度に整理した改善点等を踏まえたマッチングシステムの改修や鉄道・船舶のダイヤ情報閲覧機能の追加等について議論を行い、第2回検討会においては改良したマッチングシステムの試行運用とマッチングシステムの運営に適した組織の特性について検討を行います。

【開催日時】平成27年11月4日(水)13:30~15:10

【会 場】虎ノ門法経ホール(東京都港区西新橋1丁目20番3号 虎ノ門法曹ビルB1F)

【主な議題】改良した「検証用マッチングシステム」の試行運用について
運営に適した組織の特性について

【委 員】別紙参照

【申込期限】平成27年11月2日(月)12:00まで

【申込方法】

第2回「共同輸配送促進に向けたマッチングの仕組みに関する検討会」の取材を希望する旨、ご氏名(フリガナ)、ご連絡先(電話番号、FAX 番号)、勤務先所属団体名等を明記の上、下記事務局までメールにて申込願います。

宛先:株式会社富士通総研 CO₂削減ポテンシャル事務局(担当:沖原・山根)

メールアドレス:fri-moe@cs.jp.fujitsu.com 電話:03-5401-8394

【その他】

取材につきましては、冒頭の頭撮りは可能、それ以降の傍聴は不可とさせていただきます。冒頭の頭撮りを希望される方は、上記の通り申込みを行って頂き、当日13:20までに虎ノ門法曹ビル B1F 虎ノ門法経ホール前にお集まり下さい。

議事概要については、国土交通省ホームページにて公表する予定です。

【問い合わせ先】

国土交通省物流審議官部門物流政策課企画室 菊地、新井

電話番号:03-5253-8111(内線 53-324) 直 通:03-5253-8799 FAX:03-5253-1674

共同輸配送促進に向けたマッチングの仕組みに関する検討会
委員名簿

小粥 満 SBS ロジコム株式会社 越谷貨物ターミナル支店 支店長

佐々木 健二 株式会社キューソー流通システム 常務取締役

嶋津 光明 日本通運株式会社 事業統括部 部長(港運・内航)

鈴木 庸男 やまや商流株式会社 専務取締役

丹羽 和彦 富士通株式会社 物流企画統括部 物流購買部 部長

樋口 仁 中越通運株式会社 取締役 関東 ALC 室 室長

【座長】兵藤 哲朗 東京海洋大学海洋工学部流通情報工学科 教授

北條 英 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
ロジスティクス環境推進センター センター長

(五十音順・敬称略)

<関係行政>

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課

国土交通省 総合政策局 物流政策課 企画室

<事務局>

株式会社富士通総研